



通信

Sep.



夏休みが終わりました。これからは台風の季節です。急な天候の変化には気をつけて、授業時間にかかりそうな時は早めに連絡を。塾は連絡をしない限り開いています。

個個港学舎 舎長 八木貴子

五つの節句・菊の重陽

菊のおまじないで長寿を願う！9月9日は重陽(ちょうよう)の節句！といっても、旧暦の9月のことなので、今の暦だと、おおよそ10月の中旬くらいになります。

節句のお祝いをご存知ですか？例えば、3月3日は桃の節句、5月5日は端午の節句、というように、奇数のゾロ目が揃う日付は縁起が良いとされ、また、季節の変わり目でもあったので、雛あられや白酒、柏餅など、普段めったに食べられないごちそうを作り、食べて、体を丈夫にして健康を願うお祝いが催されてきました。

さて、重陽の節句のごちそうは何かといいますと、菊の花を焼酎に漬け込んだ、菊酒です。(清酒に菊の花を浮かべたものも、菊酒と呼ばれます。)

菊は昔から漢方薬として重用されたほか、他の花と比べて咲いている期間が長く、切り花にしても長持ちする＝長生きの象徴として、(旧暦)9月の節句に広く用いられました。菊酒の他にも、菊の花に綿をかぶせ、花に付いた朝露や香りを移して、その綿で体を拭き、菊の花が持つ長寿の力にあやかるおまじないも、重陽の節句の恒例行事でした。昔の人たちはこうして、毎年無病息災を願ってきたのですね。

(記事:マイコ先生)



学習状況のお知らせ

夏休みで睡眠時間がずれてしまったら、規則正しく食事をとり、テレビやゲームの画面を見る時間を減らしましょう。目から入る情報は脳を興奮させ、眠れなくなります。

受験生へ これから最も学力アップをさせる時期です。涼しくなり学習しやすくなるので、第一志望目指して、自習や演習にも来て力をつけましょう。

ヨーロッパ紀行⑤ パリ、モンマルトルの丘

「エッフェル塔を望めます」と言うホテルを予約し、朝はカフェオレを飲みながらパリを一望と、楽しみにしていたら、建物のすき間からエッフェル塔の先だけがちらり見えるだけじゃがっかり。でも、モンマルトルの丘の雰囲気は期待通り、坂道や路地はいろいろな芸術家が絵にした通りの空気感がありました。

モンマルトルの丘、元はパリ北部の農村地帯で、パリを一望できる1番高い丘です。ナポレオンがパリ中心部を整備したため、人々は近郊に移り住むことになりました。

中でも多くの芸術家は、農村風景の残るモンマルトルを好み集まりました。ピカソ、モディリアーニ、マチスを始め多くの画家などが安アパートに住み、アトリエを構え、モンマルトルの風景も作品に残しました。

また、ブドウ畑で取れたぶどうで、ワインが出来るので、周辺にはワインバーやビストロが多く出来、有名なキャバレー、「ムーランルージュ」もあります。街並みやカフェは、映画「アメリ」の舞台になりました。

今ではパリ唯一の小さなブドウ畑がモンマルトル博物館の裏に、残っているだけ。でも、毎年10月にはサクレ・クール聖堂を中心にして盛大な収穫祭が行われています。このブドウ畑で出来たワインは「ル・クロ・モンマルトル」と言い、年間1000本という希少なワインです。



